

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 総括

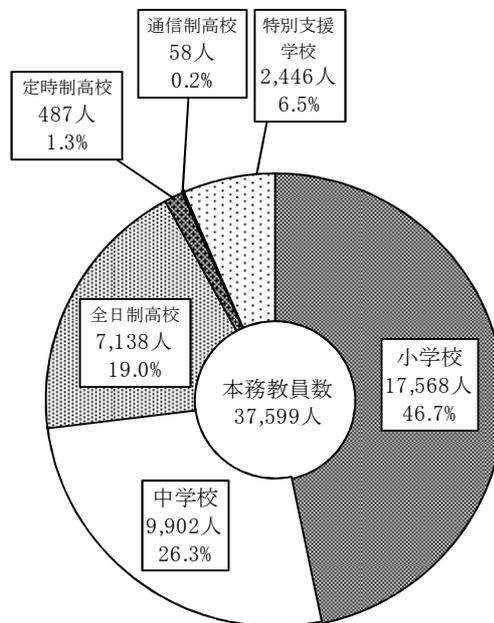
平成22年10月1日現在の県内公立学校の本務教員数は、37,599人でした。

学校種別教員数をみると、小学校の教員数が最も多く、46.7%を占めています。以下、中学校が26.3%、全日制高等学校が19.0%、特別支援学校が6.5%、定時制高等学校が1.3%、通信制高等学校が0.2%でした。

男女別構成比をみると、男性教員の割合が最も高いのは定時制高等学校で81.1%、女性教員の割合が最も高いのは小学校で62.9%でした。

年齢構成をみると、20歳代の割合が最も高いのは小学校で15.8%でした。以下、30歳代は小学校で20.1%、40歳代は定時制高等学校で34.3%、50歳代は通信制高等学校で74.1%、60歳以上は定時制高等学校で3.7%でした。

第1図 学校種別教員数



第1表 学校種別教員の構成

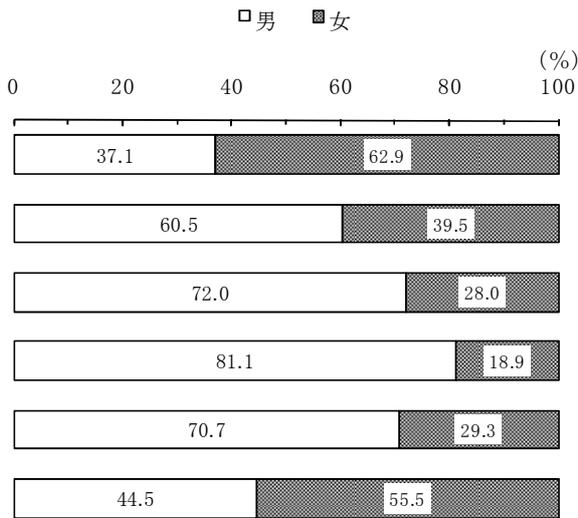
(単位…教員数:人、平均年齢:歳、比率:%)

区分	小学校			中学校			全日制高等学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本務教員数	6,514	11,054	17,568	5,993	3,909	9,902	5,139	1,999	7,138
平均年齢	45.4	44.7	45.0	47.9	44.3	46.4	48.9	45.0	47.8
男女比	37.1	62.9	100.0	60.5	39.5	100.0	72.0	28.0	100.0

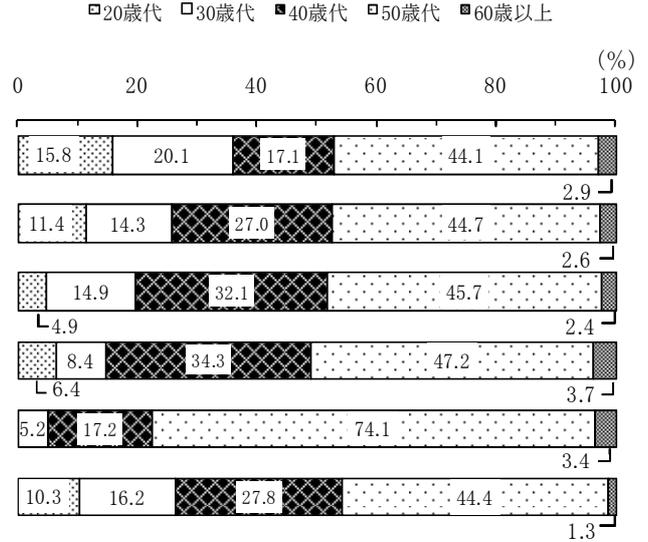
区分	定時制高等学校			通信制高等学校			特別支援学校			総計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本務教員数	395	92	487	41	17	58	1,089	1,357	2,446	19,171	18,428	37,599
平均年齢	49.6	45.0	48.7	53.6	51.0	52.8	47.8	44.9	46.2	47.4	44.7	46.0
男女比	81.1	18.9	100.0	70.7	29.3	100.0	44.5	55.5	100.0	51.0	49.0	100.0

※ 平均年齢算出方法 「年齢(各歳)×各歳別人数÷総人数+0.5」

第2図 学校種別教員の男女比



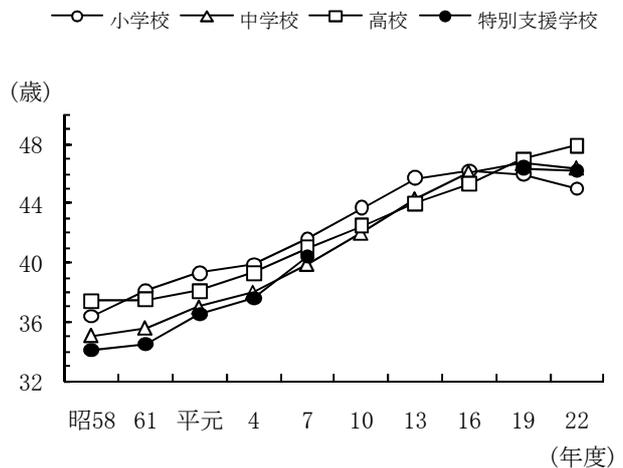
第3図 学校種別教員の年齢構成



学校種別ごとの教員の平均年齢をみると、小学校で45.0歳、中学校で46.4歳、高等学校で47.9歳、特別支援学校で46.2歳でした。

平成22年度と平成19年度の教員の平均年齢を比較すると、平均年齢が上昇したのは、高等学校のみで、それ以外の学校種では低下しています。

第4図 学校種別教員の平均年齢の推移



第2表 学校種別教員の平均年齢の推移

(単位:歳)

年度	区分	小学校			中学校			高校(全・定・通)			特別支援学校		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和	58	39.3	34.8	36.4	36.6	32.5	35.1	38.0	34.7	37.4	35.7	32.3	34.1
	61	40.9	36.4	38.1	36.9	33.4	35.6	38.0	35.3	37.5	35.6	33.4	34.5
平成	元	41.6	37.9	39.3	38.0	35.2	37.0	38.6	36.2	38.1	37.9	35.3	36.5
	4	41.5	39.0	39.9	38.9	36.6	38.0	39.8	37.6	39.3	38.8	36.7	37.6
	7	42.6	41.0	41.6	40.7	38.5	39.9	41.6	39.0	41.0	41.5	39.4	40.4
	10	44.3	43.4	43.7	42.7	40.8	42.0	43.1	40.4	42.5	...	...	...
	13	46.1	45.5	45.7	45.1	43.0	44.3	44.7	41.9	44.0	...	...	...
	16	46.5	46.1	46.2	47.0	44.5	46.1	46.2	42.7	45.3	...	...	...
19	46.7	45.6	46.0	47.9	44.7	46.7	48.0	44.2	47.0	47.7	45.2	46.4	
22	<b>45.4</b>	<b>44.7</b>	<b>45.0</b>	<b>47.9</b>	<b>44.3</b>	<b>46.4</b>	<b>49.0</b>	<b>45.0</b>	<b>47.9</b>	<b>47.8</b>	<b>44.9</b>	<b>46.2</b>	
対平成19年度		-1.3	-0.9	-1.0	0.0	-0.4	-0.3	1.0	0.8	0.9	0.1	-0.3	-0.2

※ 平成10年、13年及び16年の特別支援学校については公表されていない。

※ 平均年齢算出方法 「年齢(各歳)×各歳別人数÷総人数+0.5」

## 2 小学校

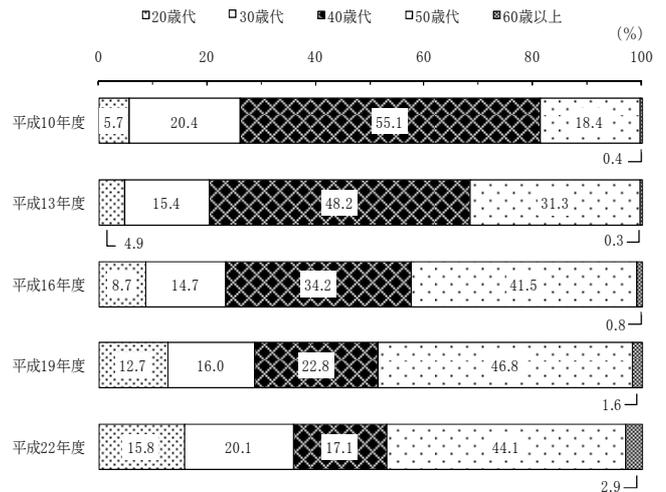
教員数は17,568人で、前回より431人減少しました。

平均年齢は45.0歳で、前回より1.0歳低下しました。

男女別構成比は、男性の割合が37.1%、女性の割合が62.9%でした。

年齢構成の割合をみると、50歳代が44.1%で最も高く、次いで30歳代が20.1%、40歳代が17.1%でした。

### 第5図 小学校教員の年齢構成の推移



## 3 中学校

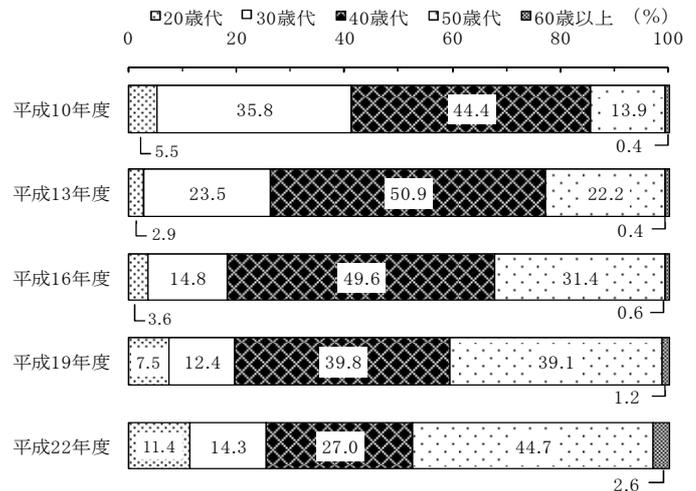
教員数は9,902人で、前回より180人減少しました。

平均年齢は46.4歳で、前回より0.3歳低下しました。

男女別構成比は、男性の割合が60.5%、女性の割合が39.5%でした。

年齢構成の割合をみると、50歳代が44.7%で最も高く、次いで40歳代が27.0%、30歳代が14.3%でした。

### 第6図 中学校教員の年齢構成の推移



## 4 教育事務所別小・中学校

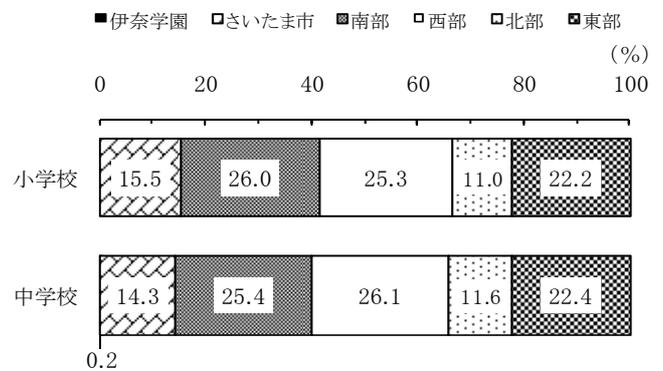
教育事務所別に教員数をみると、最も人数が多い教育事務所（伊奈学園、さいたま市を除く。以下同じ。）は、小学校では南部教育事務所で全体の26.0%を占めています。中学校では西部教育事務所で26.1%でした。

20歳代の割合が最も高いのは、小学校では南部教育事務所で18.3%、中学校でも南部教育事務所で14.1%でした。

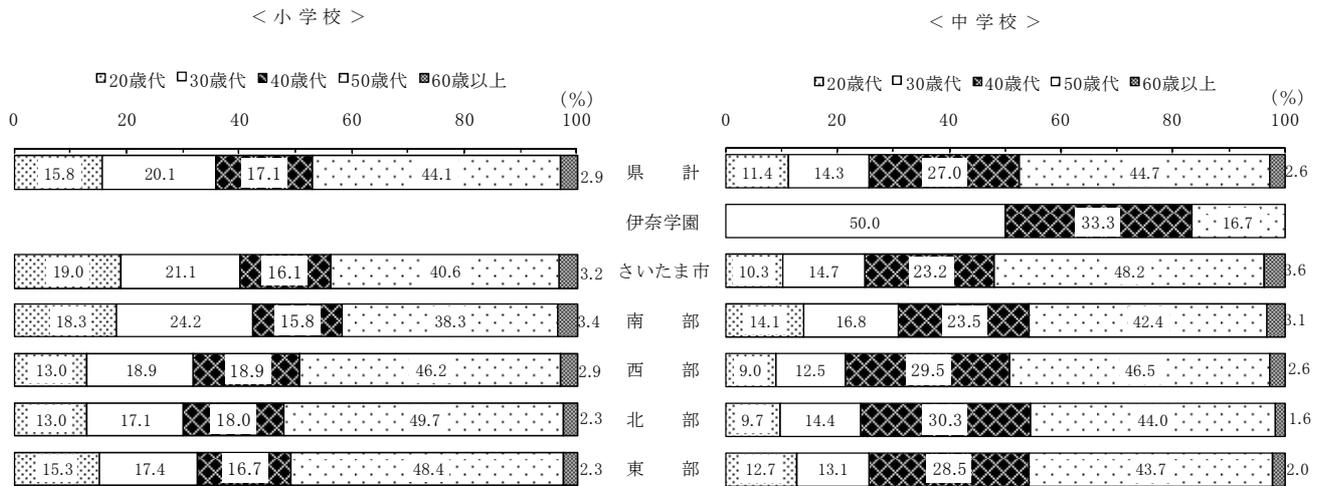
教員の平均年齢が最も低いのは、小学校が南部教育事務所で43.6歳、中学校でも南部教育事務所で45.5歳でした。最も高いのは、小学校が北部教育事務所で46.2歳、中学校が西部教育事務所で47.3歳でした。平均年齢の最高と最低の差は、小学校が2.6歳、中学校が1.8歳でした。

※「教育事務所」の担当区域については、10ページを参照してください。

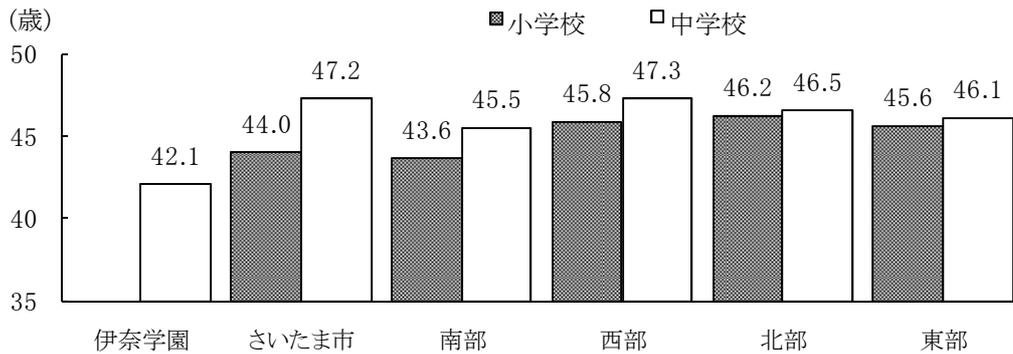
### 第7図 教育事務所別教員数の割合



## 第8図 教育事務所別教員の年齢構成



## 第9図 教育事務所別教員の平均年齢



### 5 高等学校

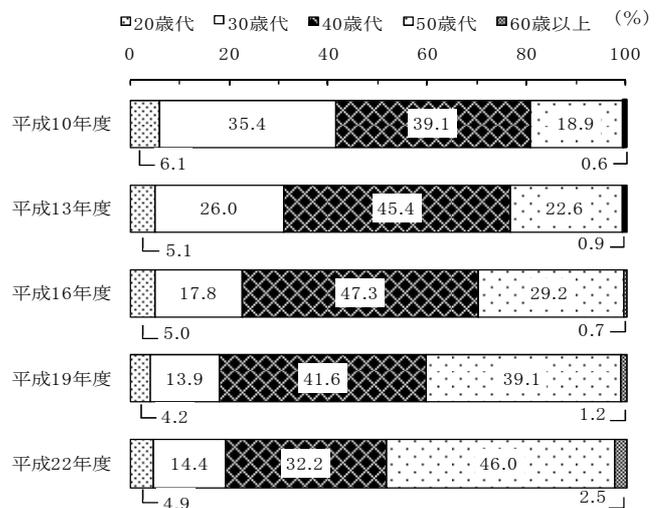
教員数は7,683人で、前回より378人減少しました。

平均年齢は47.9歳で、前回よりも0.9歳上昇しました。

男女別構成比は、男性の割合が72.6%、女性の割合が27.4%でした。

年齢構成の割合をみると、50歳代が46.0%で最も高く、次いで40歳代が32.2%、30歳代が14.4%でした。

## 第10図 高等学校教員の年齢構成の推移



## 6 特別支援学校

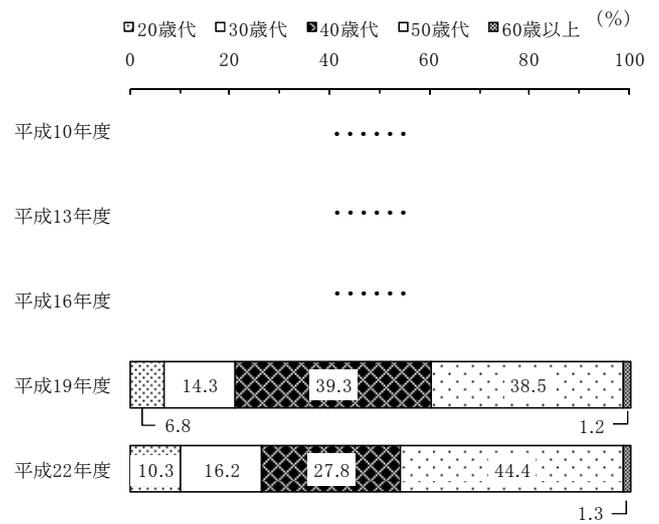
教員数は2,446人で、前回より126人増加しました。

平均年齢は46.2歳で、前回よりも0.2歳低下しました。

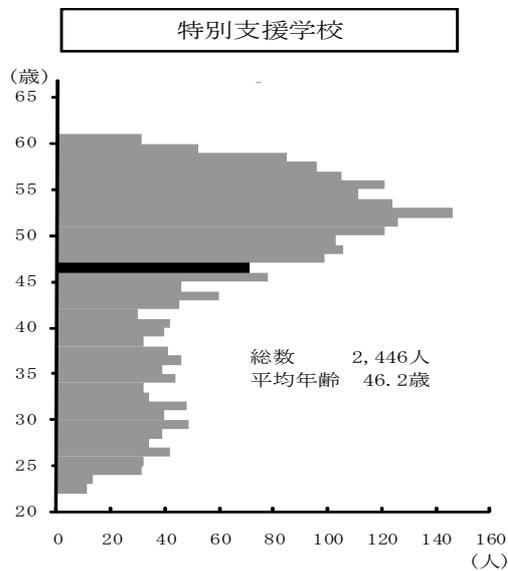
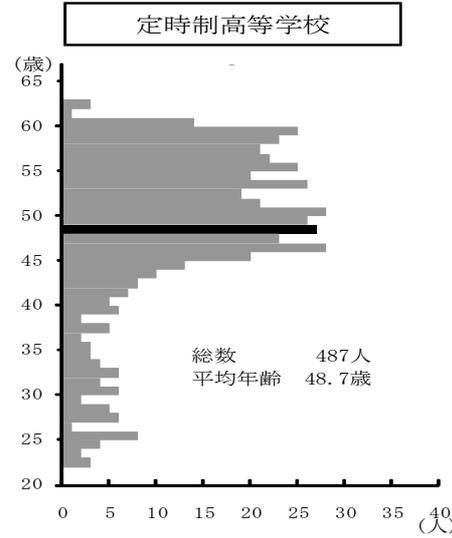
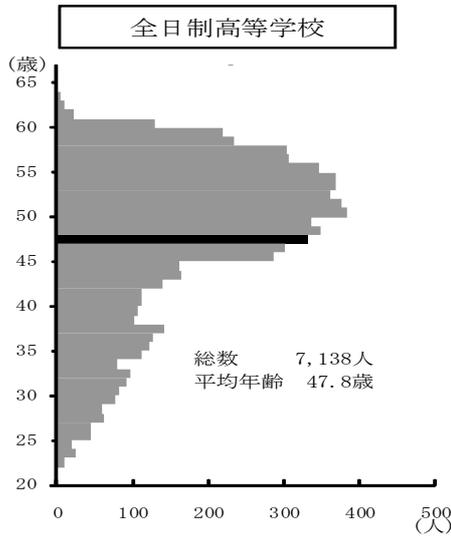
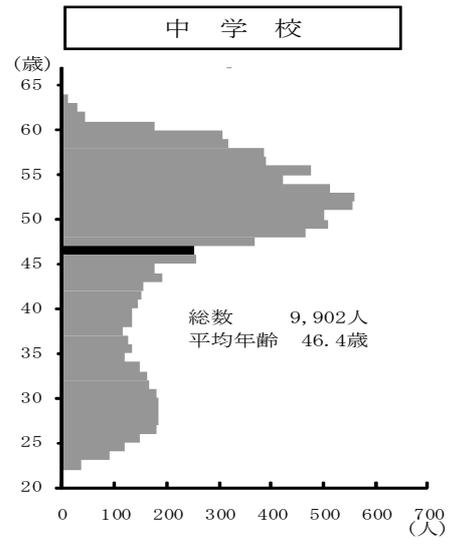
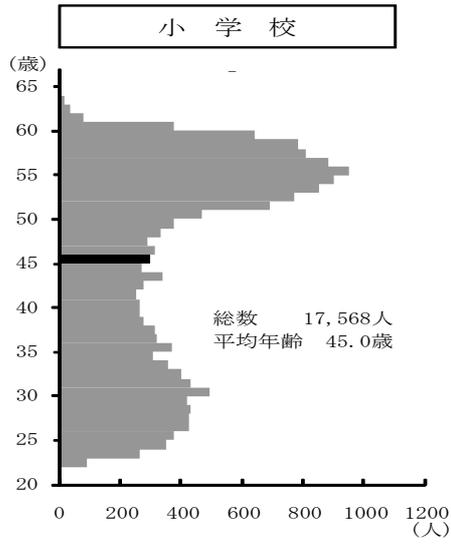
男女別構成比は、男性の割合が44.5%、女性の割合が55.5%でした。

年齢構成の割合をみると、50歳代が44.4%で最も高く、次いで40歳代が27.8%、30歳代が16.2%でした。

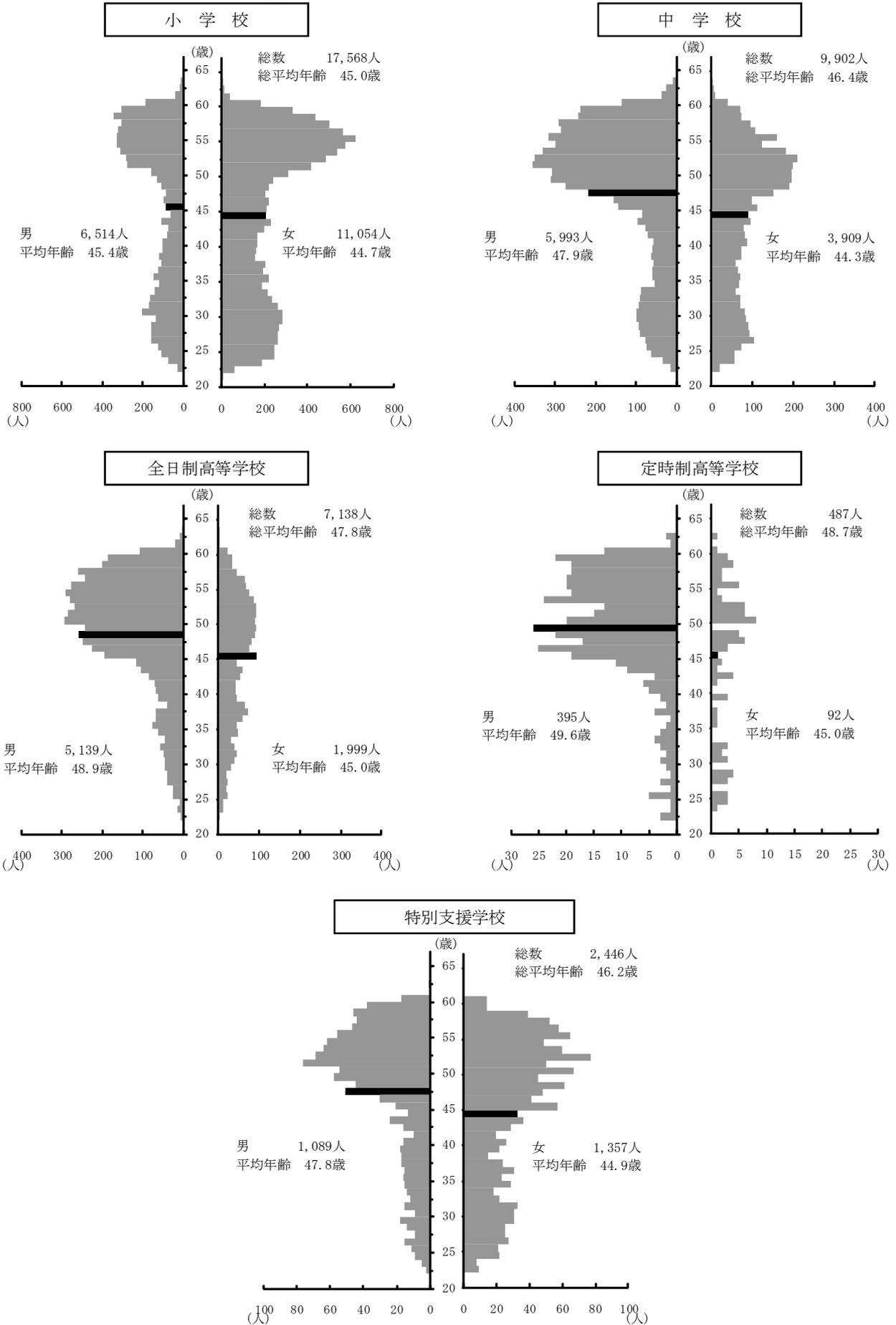
第11図 特別支援学校教員の年齢構成の推移



第12-1図 教員の年齢構成（男女計）



## 第12-2図 教員の年齢構成（男女別）



【参考】 教育事務所の担当区域（平成 22 年 10 月 1 日現在）

教育事務所名	担当区域
南部教育事務所	川口市 鴻巣市 上尾市 草加市 蕨市 戸田市 鳩ヶ谷市 朝霞市 志木市 和光市 新座市 桶川市 北本市 伊奈町
西部教育事務所	川越市 所沢市 飯能市 東松山市 狭山市 入間市 富士見市 坂戸市 鶴ヶ島市 日高市 ふじみ野市 三芳町 毛呂山町 越生町 滑川町 嵐山町 小川町 川島町 吉見町 鳩山町 ときがわ町 東秩父村
北部教育事務所	熊谷市 秩父市 本庄市 深谷市 横瀬町 皆野町 長瀨町 小鹿野町 美里町 神川町 上里町 寄居町
東部教育事務所	行田市 加須市 春日部市 羽生市 越谷市 久喜市 八潮市 三郷市 蓮田市 幸手市 吉川市 宮代町 白岡町 杉戸町 松伏町